

平成29年

火災・救急・救助
などの活動概況



©稲沢市いなッピー
火の用心

稲沢市消防本部

目 次

稲沢市管内概要	1
緊急出動概況	2
119番受信概況	4
訓練指導及び調査概況	5
予防概況	7

火災

火災概況	10
年別出火件数・年別損害額	11
署別出火件数・月別出火件数	12
曜日別出火件数・時間別出火件数	13
火災による死傷者数	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移	15

救急

救急概況	16
種別ごとの救急出場件数	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員	19
傷病程度別搬送人員	20
収容所要時間別搬送人員	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員	22

救助

救助概況	23
------------	----

稲沢市管内概要

面積・人口・世帯数

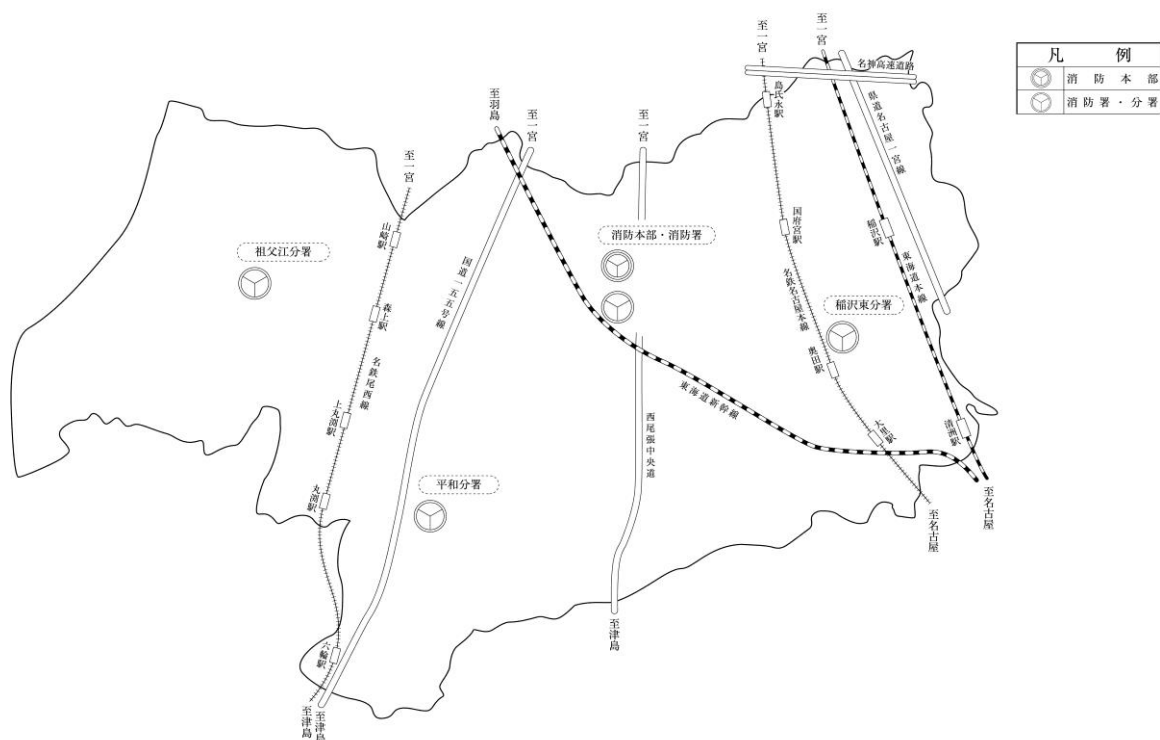
平成30年1月1日現在

区 分	面積(k m ²)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲 沢 市	79.35	68,138	69,294	137,432	53,854

消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名 称	所 在 地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

消防本部・消防署配置図



緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり7,435件で、前年と比較して190件増加している。

1日当りの平均出動件数は20件となっている。また、火災、救急及び救助出動以外に1,281件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が5,923件(79.7%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,075件(14.4%)、警戒出動が206件(2.8%)の順となっている。

第1表 緊急出動状況

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率
本署	平成28年	32(1)	1,576	55	75	296	2,034	28.1%
	平成29年	53(11)	1,631	68	75	320	2,147	28.9%
稲沢東分署	平成28年	14(2)	2,554	23	42	380	3,013	41.6%
	平成29年	30(6)	2,578	27	46	415	3,096	41.6%
祖父江分署	平成28年	15	909	6	22	184	1,136	15.7%
	平成29年	18(1)	841	15	31	154	1,059	14.3%
平和分署	平成28年	13(2)	845	11	31	162	1,062	14.6%
	平成29年	13	873	7	54	186	1,133	15.2%
合計	平成28年	74(5)	5,884	95	170	1,022	7,245	100%
	比率	1.0%	81.2%	1.3%	2.4%	14.1%		
	平成29年	114(18)	5,923	117	206	1,075	7,435	100%
	比率	1.5%	79.7%	1.6%	2.8%	14.4%		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
 2 「救急支援出動」とは、119番通報時に心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要なときに出動するものをいう。
 3 火災の()内の数値については、事後聞知の火災件数

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおり年間を通じて平均的に出動している。
火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で90件、警戒出動は月平均で17件出動している。

第2表 月別緊急出動状況

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	4	6	5	5(1)	4(1)	3(1)	2	3(2)	8(2)	3(1)	3(2)	7(1)	53(11)	114(18)
	稲沢東分署	3	5	3(1)	1	4(1)	3(1)	2	1	4(1)	1(1)	2(1)	1	30(6)	
	祖父江分署	1	2	2	3(1)	1	1	1	0	3	2	0	2	18(1)	
	平和分署	3	0	1	2	1	2	1	0	1	1	0	1	13	
	小計	11	13	11(1)	11(2)	10(2)	9(2)	6	4(2)	16(3)	7(2)	5(3)	11(1)	114(18)	
救急	本署	165	150	127	119	133	132	130	132	124	125	120	174	1,631	5,923
	稲沢東分署	227	239	210	192	209	157	242	241	219	212	204	226	2,578	
	祖父江分署	85	71	65	72	67	67	68	89	58	55	71	73	841	
	平和分署	94	71	80	65	68	65	72	68	64	67	77	82	873	
	小計	571	531	482	448	477	421	512	530	465	459	472	555	5,923	
救助	本署	8	7	6	3	5	6	6	4	7	4	8	4	68	117
	稲沢東分署	2	4	2	1	5	0	3	1	4	1	3	1	27	
	祖父江分署	3	2	0	1	0	2	1	1	2	1	2	0	15	
	平和分署	0	1	2	0	0	0	2	0	1	0	0	1	7	
	小計	13	14	10	5	10	8	12	6	14	6	13	6	117	
警戒	本署	8	5	8	5	5	2	4	6	9	6	6	11	75	206
	稲沢東分署	0	5	2	3	4	5	2	4	2	4	3	12	46	
	祖父江分署	3	3	3	3	2	4	2	2	3	2	2	2	31	
	平和分署	2	2	7	2	6	2	5	1	5	7	9	6	54	
	小計	13	15	20	13	17	13	13	13	19	19	20	31	206	
救急支援	本署	37	26	21	17	32	23	22	22	34	22	23	41	320	1,075
	稲沢東分署	39	41	39	33	33	21	36	35	28	40	26	44	415	
	祖父江分署	23	14	16	17	4	9	5	13	12	14	13	14	154	
	平和分署	17	13	16	9	14	17	10	18	12	15	22	23	186	
	小計	116	94	92	76	83	70	73	88	86	91	84	122	1,075	
合計		724	667	614	553	597	521	616	641	600	582	594	725	7,435	

(注) 火災の()内の数値については、事後聞知の火災件数

119番受信概況

119番受信状況は、表のとおり7,875件で、前年と比較して413件減少している。1日当たりの平均受信件数は21.6件で、前年より1件減少している。減少した理由としては、「その他」に入るいたずら件数が減少したためである。

119番受信区分では、固定電話からの119番が4,615件で58.6%、携帯電話からの119番が3,260件で41.4%となっている。

表 119番受信状況

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
27年	固定電話	42	3,651	21	1,637	5,351
	携帯電話	52	1,975	37	845	2,909
	合計	94	5,626	58	2,482	8,260
28年	固定電話	29	3,443	15	1,710	5,197
	携帯電話	44	2,080	38	929	3,091
	合計	73	5,523	53	2,639	8,288
29年	固定電話	18	3,441	12	1,144	4,615
	携帯電話	82	2,272	50	856	3,260
	合計	100	5,713	62	2,000	7,875

※「その他」は、警戒、調査、訓練通報、いたずら、病院問い合わせ等

訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計2,122回で、前年と比較して393回減少している。

1日当りの平均では、訓練指導は2回、調査回数は4回となっている。

訓練指導及び調査回数を種別に見ると、1人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火査察を1,167戸（55.0%）実施し、次いで地理水利調査が278回（13.1%）、消防団訓練指導が201回（9.4%）の順となっている。

自主防災会、事業所及び教育機関については、合計326団体（15.4%）に対して訓練指導を実施している。

第1表 訓練指導及び調査状況

種別 署別		消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	住宅防火査察	地理水利調査	枯草調査	はしご車接梯調査	合計	比率
本署	平成28年	54	31	40	35	59	24	545	92	7	0	887	35.3%
	平成29年	82	36	45	40	65	26	408	75	4	4	785	37.0%
稲沢東分署	平成28年	83	40	40	22	19	4	605	66	5	0	884	35.1%
	平成29年	45	36	40	24	19	4	460	72	4	0	704	33.2%
祖父江分署	平成28年	42	10	12	13	6	1	234	48	1	0	367	14.6%
	平成29年	43	8	17	16	8	2	177	75	0	0	346	16.3%
平和分署	平成28年	33	16	28	11	8	2	209	59	11	0	377	15.0%
	平成29年	31	19	32	13	11	2	122	56	1	0	287	13.5%
合計	平成28年	212	97	120	81	92	31	1,593	265	24	0	2,515	100%
	比率	8.4%	3.9%	4.8%	3.2%	3.7%	1.2%	63.3%	10.5%	1.0%	0.0%		
	平成29年	201	99	134	93	103	34	1,167	278	9	4	2,122	100%
	比率	9.4%	4.7%	6.3%	4.4%	4.9%	1.6%	55.0%	13.1%	0.4%	0.2%		

- (注) 1 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。
 2 査察及び調査は、消防署の計画に基づき行うものをいう。
 3 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数をいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおり。事業所訓練指導、教育機関訓練指導、普通救命講習会及び地理水利調査は、年間を通じて実施している。消防団訓練指導は、ポンプ車操法指導の関係で4月及び5月に、自主防災会訓練指導は、防災訓練等の関係で9月から11月までに集中的に実施している。

住宅防火査察及び枯草調査は、各目的に応じて実施しているため、実施月に偏りが生じている。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

種別・署別		月別												小計	合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消防団	訓練指導	本署	0	0	0	25	20	18	17	2	0	0	0	0	82	201
		稲沢東分署	0	1	2	28	14	0	0	0	0	0	0	0	45	
		祖父江分署	0	0	0	28	15	0	0	0	0	0	0	0	43	
		平和分署	0	0	0	22	9	0	0	0	0	0	0	0	31	
		小計	0	1	2	103	58	18	17	2	0	0	0	0	201	
自主防災会	訓練指導	本署	1	0	5	2	0	4	1	2	3	8	6	4	36	99
		稲沢東分署	1	2	1	1	2	3	1	1	7	8	6	3	36	
		祖父江分署	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	4	0	8	
		平和分署	0	0	1	0	3	0	2	3	4	2	2	2	19	
		小計	2	3	7	3	5	9	4	6	15	18	18	9	99	
事業所	訓練指導	本署	2	1	2	4	5	7	3	1	4	8	6	2	45	134
		稲沢東分署	0	3	6	6	3	2	2	0	2	9	5	2	40	
		祖父江分署	1	0	2	0	0	4	1	0	3	2	3	1	17	
		平和分署	0	1	1	1	6	6	3	1	4	5	4	0	32	
		小計	3	5	11	11	14	19	9	2	13	24	18	5	134	
教育機関	訓練指導	本署	1	0	0	1	8	10	0	6	2	3	7	2	40	93
		稲沢東分署	0	1	0	1	2	2	2	2	0	4	5	5	24	
		祖父江分署	0	0	1	0	0	3	3	0	0	2	6	1	16	
		平和分署	1	1	3	0	1	1	0	0	0	2	4	0	13	
		小計	2	2	4	2	11	16	5	8	2	11	22	8	93	
普通救命講習会	講習会	本署	1	4	1	5	3	5	9	15	9	4	5	4	65	103
		稲沢東分署	1	2	3	1	2	3	0	5	1	1	0	0	19	
		祖父江分署	0	0	1	0	0	2	1	1	1	1	0	1	8	
		平和分署	1	0	0	2	2	0	1	1	2	2	0	0	11	
		小計	3	6	5	8	7	10	11	22	13	8	5	5	103	
消防署見学	見学	本署	0	0	0	2	7	4	0	4	4	2	2	1	26	34
		稲沢東分署	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	4	
		祖父江分署	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
		平和分署	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
		小計	0	0	0	4	11	4	0	4	5	2	3	1	34	
住宅防火査察	査察	本署	120	0	0	0	0	0	0	0	91	85	112	408	1,167	
		稲沢東分署	151	0	0	0	0	0	0	0	109	101	99	460		
		祖父江分署	57	0	0	0	0	0	0	0	34	49	37	177		
		平和分署	45	0	0	0	0	0	0	0	20	22	35	122		
		小計	373	0	0	0	0	0	0	0	254	257	283	1,167		
地理水利調査	調査	本署	18	1	0	4	11	4	7	16	4	3	4	3	75	278
		稲沢東分署	8	5	9	3	4	5	5	6	14	1	6	6	72	
		祖父江分署	4	9	10	1	8	10	4	8	4	4	5	8	75	
		平和分署	3	3	2	6	13	7	3	3	4	1	3	8	56	
		小計	33	18	21	14	36	26	19	33	26	9	18	25	278	
枯草調査	調査	本署	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9
		稲沢東分署	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4		
		祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
		小計	5	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	9		
はしご車	接梯調査	本署	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	4	4
		稲沢東分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		祖父江分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		平和分署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		小計	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	4	
合計		421	36	51	145	143	104	65	78	74	327	341	337	2,122		

(注) 1 住宅防火査察の数値については、調査した対象戸数

2 住宅防火査察の1月については75歳以上、10月から12月までは80歳以上の1人暮らしの高齢者を対象

予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均12.3件であり、届出状況をみると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,472件（32.9%）、次いで道路工事届出書が1,100件（24.6%）となっている。

第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	210	4.7%
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 設 置 届 出 書	150	3.4%
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 点 検 結 果 報 告 書	1,472	32.9%
防 火 管 理 者 選 任（ 解 任 ） 届 出 書	251	5.6%
消 防 計 画 作 成（ 変 更 ） 届 出 書	290	6.5%
道 路 工 事 届 出 書	1,100	24.6%
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	707	15.8%
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 設 備 設 置 届 出 書	28	0.6%
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	27	0.6%
催 物 開 催 届 出 書	7	0.2%
露 店 等 の 開 設 届 出 書	57	1.3%
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	37	0.8%
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	85	1.9%
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	41	0.9%
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	11	0.2%
合 計	4,473	100%

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。1か月あたり平均14.9件の消防同意を実施している。区分別では新築が125件（69.8%）である。

第2表 区分別消防同意状況 (件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	12	10	19	10	12	12	15	7	8	8	6	6	125	69.8%
増 築	5	6	4	6	2	7	4	3	3	3	9		52	29.1%
改 築													0	0.0%
用 途 変 更									1	1			2	1.1%
そ の 他													0	0.0%
合 計	17	16	23	16	14	19	19	10	12	12	15	6	179	100.0%

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

第3表 消防用設備等の検査状況 (件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 器 設 備	消 火 器	6	2	6	7	8	7	5	5	7	6	2	1	62	23.4%
	屋 内 消 火 栓 設 備	1		2	1	1	1					1		7	2.6%
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備					1						1		2	0.8%
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	1	1	3	1		1				1	1		9	3.4%
	屋 外 消 火 栓 設 備	2		1	2	1	2	1	2					11	4.2%
	泡 消 火 設 備				1	1		1						3	1.0%
	粉 末 消 火 設 備					1			1					2	0.8%
	ガ ス 消 火 設 備													0	0.0%
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備													0	0.0%
	警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	9	4	7	6	6	9	4	6	7	11	5	2	76
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備				3	2		1	2		1				9	3.4%
非 常 警 報 器 具 ・ 設 備						1	1	1	1	1	1			6	2.3%
非 常 放 送 設 備		3	1	1	1	1			5	1		2		15	5.7%
漏 電 火 災 警 報 器														0	0.0%
避 難 設 備	避 難 器 具	2		2	1					2	1		1	9	3.4%
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	3	2	5	7	5	5	4	3	3	7	2	1	47	17.7%
そ の 他	消 防 用 水	1				1								2	0.8%
	連 結 送 水 管	1		1						1				3	1.0%
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	1												1	0.4%
	排 煙 設 備						1							1	0.4%
合 計	30	10	31	29	27	28	18	23	23	27	14	5	265	100.0%	

平成29年中における稲沢市内の危険物製造所等は288施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は第4表のとおりである。

第4表 危険物製造所等の許可・届出状況 (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置		4						1				2	7
	変 更		1	3	1	3		1		8			35	52
仮 使 用 承 認			1	3	1	3				8			34	50
完成検査	設 置		4										1	5
	変 更		1	3	1	3		1		8			28	45
予 防 規 程 認 可														0
軽 微 な 工 事 届				1		2			1	13			25	42
品名・数量・倍数変更届			6						1					7
保安監督者選任・解任届			21	7		2				8			9	47
廃 止 届			2	2		4		1		3			4	16
合 計		0	40	19	3	17	0	3	3	48	0	0	138	271

(注) 危険物製造所等の数は平成29年12月31日現在

火 災 概 況

火災の状況をみると第1表のとおり、出火件数が65件と前年（38件）に比べ27件増加し、建物火災は前年と比較すると14件増加しているが、損害額は減少している。

火災種別で見ると、建物火災が34件で全体の52.3%と最も高い割合であり、次いでその他の火災が30件で46.2%、車両火災が1件で1.5%となっている。

第1表 平成29年中の火災状況と前年との比較

区 分	単 位	平成29年(A)	平成28年(B)	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
出 火 件 数	件	65	38	27	71.1
建物火災		34	20	14	70.0
車両火災		1	6	-5	-83.3
その他の火災		30	12	18	150.0
焼 損 棟 数	棟	42	29	13	44.8
全 焼		4	9	-5	-55.6
半 焼		2	1	1	100.0
部分焼		15	9	6	66.7
ぼ や		21	10	11	110.0
建物焼損床面積	m ²	586	1,162	-576	-49.6
死 者	人	4	0	4	-
負傷者		9	5	4	80.0
り 災 世 帯	世帯	20	21	-1	-4.8
り 災 人 員	人	43	41	2	4.9
損 害 額	千円	27,730	78,281	-50,551	-64.6
建物火災		27,655	77,444	-49,789	-64.3
車両火災		-	755	-755	-100.0
その他の火災		75	82	-7	-8.5
出 火 率	%	4.7	2.8	1.9	-

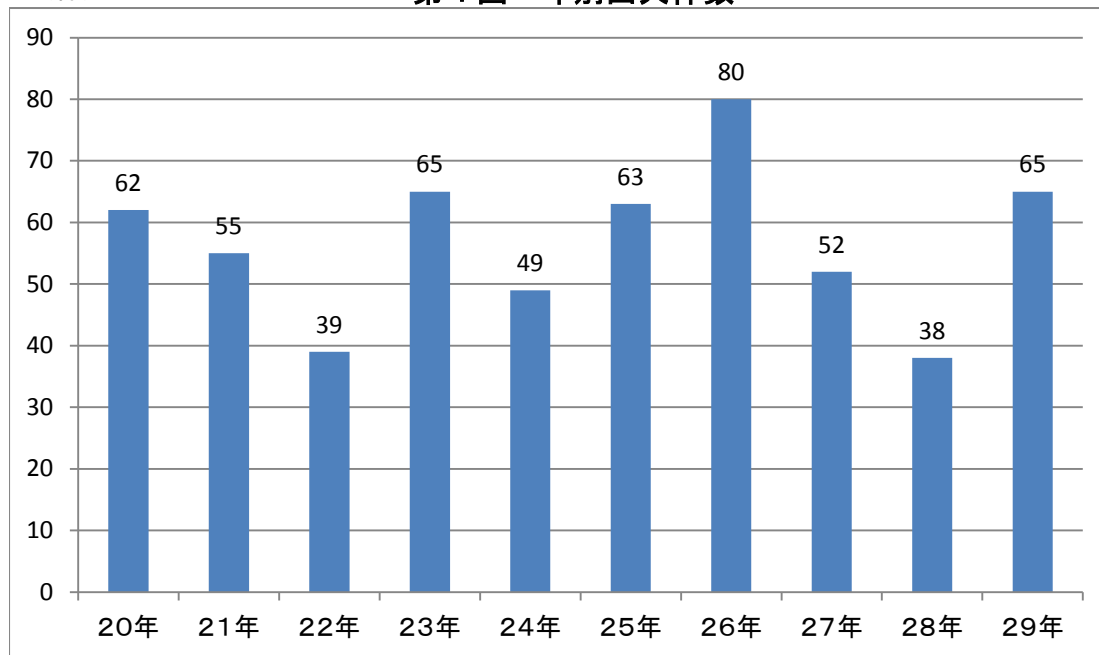
- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。
 2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。
 3 損害額及び増減率は、表示単位未満を四捨五入した。

年別出火件数

過去10年間の出火件数をみると第1図のとおり、平成26年が80件と最も多くなっており、次いで平成29年は平成23年と同様に65件と多い件数である。

平成29年の1日当たりの出火件数は0.18件であり、約5.6日に1件の割合で火災が発生している。

(件) **第1図 年別出火件数**



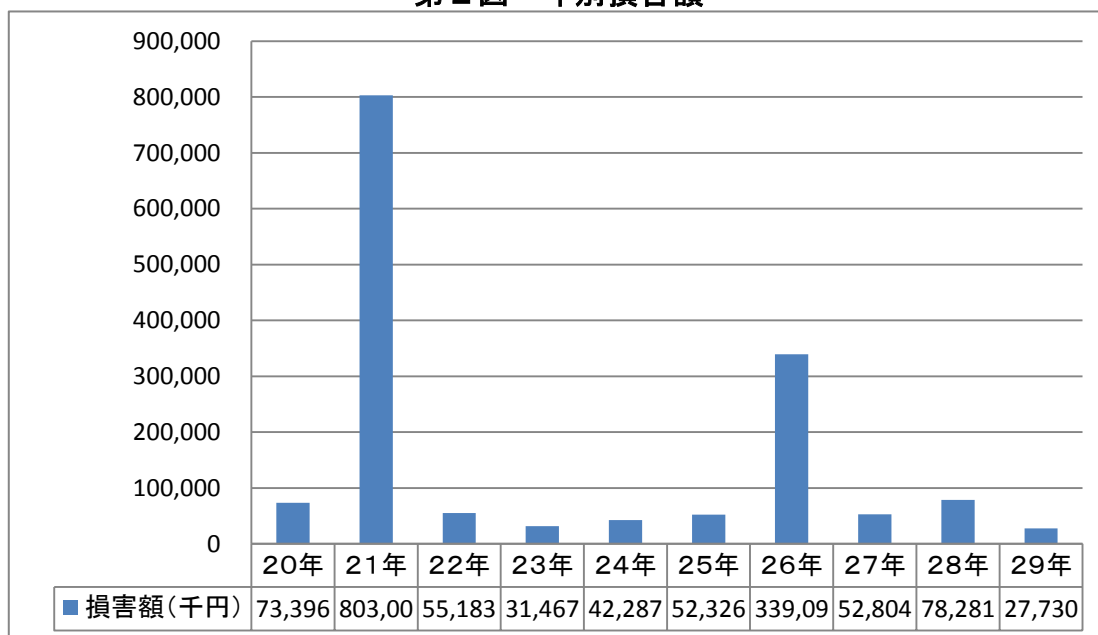
年別損害額

損害額は27,730千円であり、前年(78,281千円)に比べ50,551千円減少している。また、火災1件当たりでは427千円となっており、前年(2,060千円)と比べて、1,633千円減少している。

過去10年間の損害額をみると第2図のとおり平成21年が最も多く、次いで平成26年、平成28年の順となっている。

なお、損害額の99.7%が建物火災によるものである。

第2図 年別損害額



署別出火件数

出火件数の65件を署別にみると第2表のとおり、本署が27件で最も多く、次いで稲沢東分署の22件、平和分署の10件、祖父江分署の6件の順となっている。

署別出火件数を前年と比べてみると、稲沢東分署の増加率が顕著であるが、各署増加しており、合計で昨年の38件から71.1%増加している。

第2表 署別出火件数前年比較

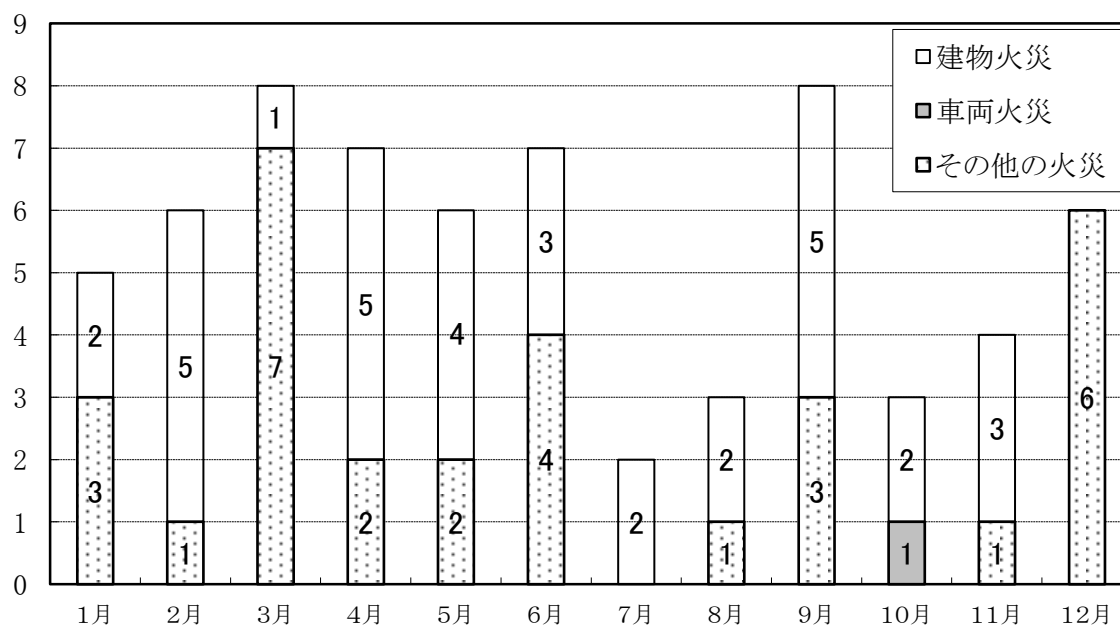
	平成29年(A) 出火件数	平成28年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	27	17	10	58.8
稲沢東分署	22	10	12	120.0
祖父江分署	6	5	1	20.0
平和分署	10	6	4	66.7
合計	65	38	27	71.1

月別出火件数

月別の発生件数は、7月が最も少ない2件であり、火災種別ごとにみると建物火災は2月、4月及び9月が5件、その他の火災は、3月に7件と最も多くなっている。

(件)

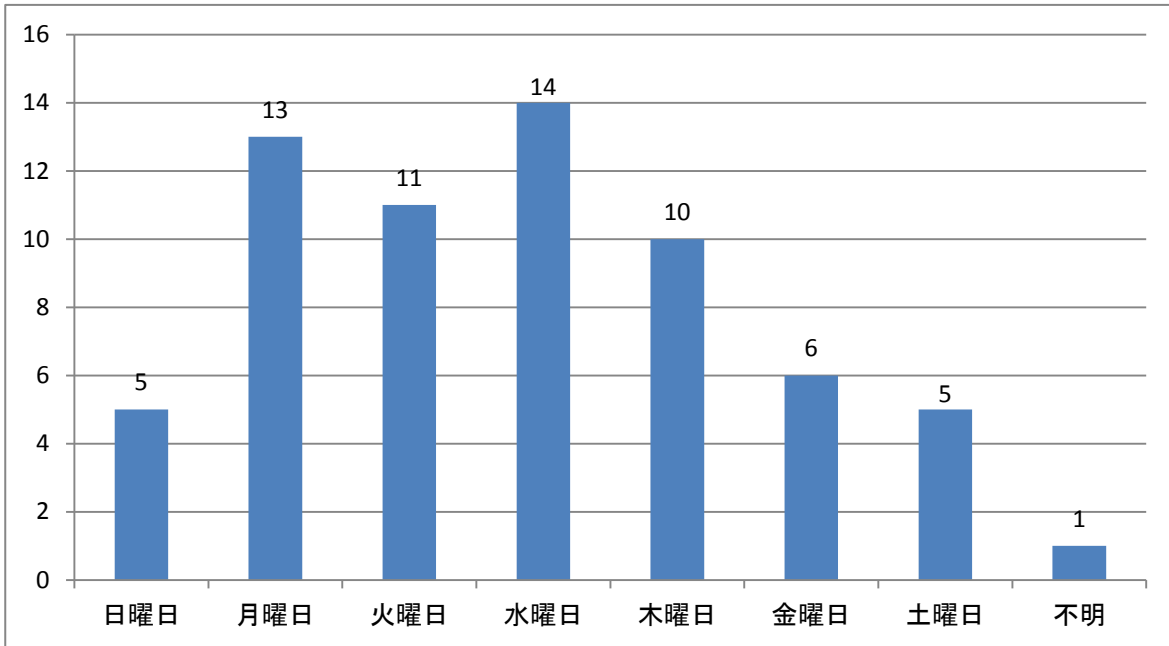
第3図 月別出火件数



曜日別出火件数

出火件数65件を曜日別にみると第4図のとおり、水曜日が14件と最も多く、次いで月曜日が13件となっている。

(件) **第4図 曜日別出火件数**

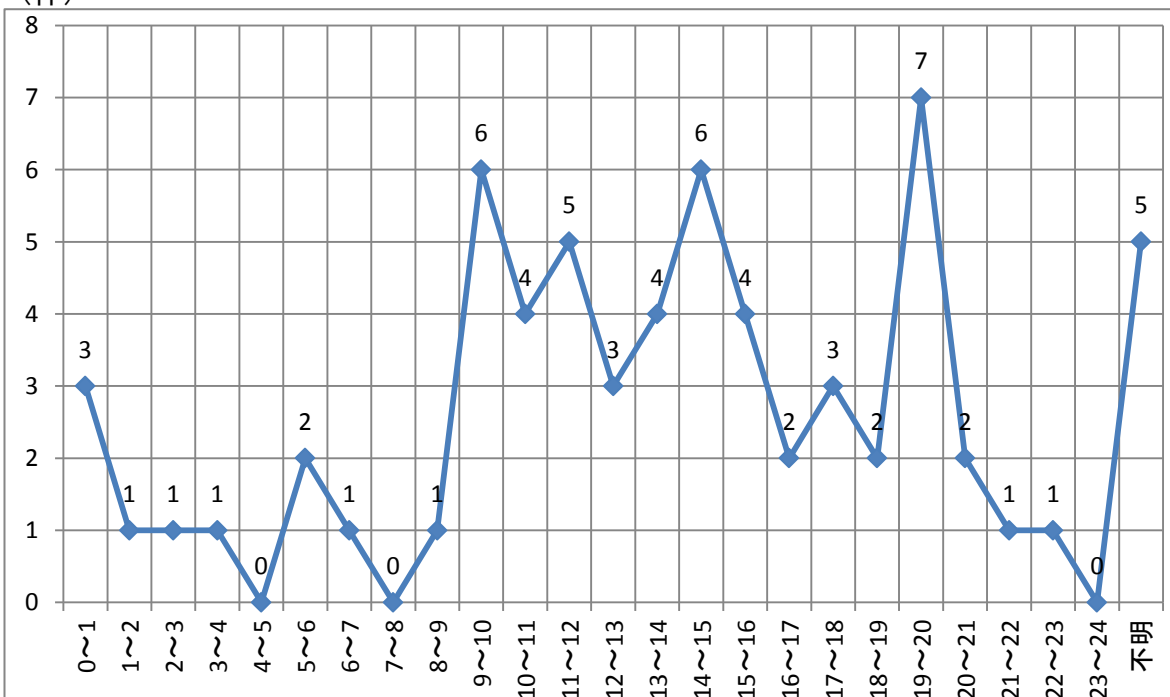


時間別出火件数

出火件数65件を時間別にみると第5図のとおり、19時から20時までが7件と最も多くなっている。

全体的に見ると、就寝している可能性のある22時から6時までの出火件数は9件であり、一般的に家事や仕事をしている6時から22時までが51件と多く発生している。

(件) **第5図 時間別出火件数**



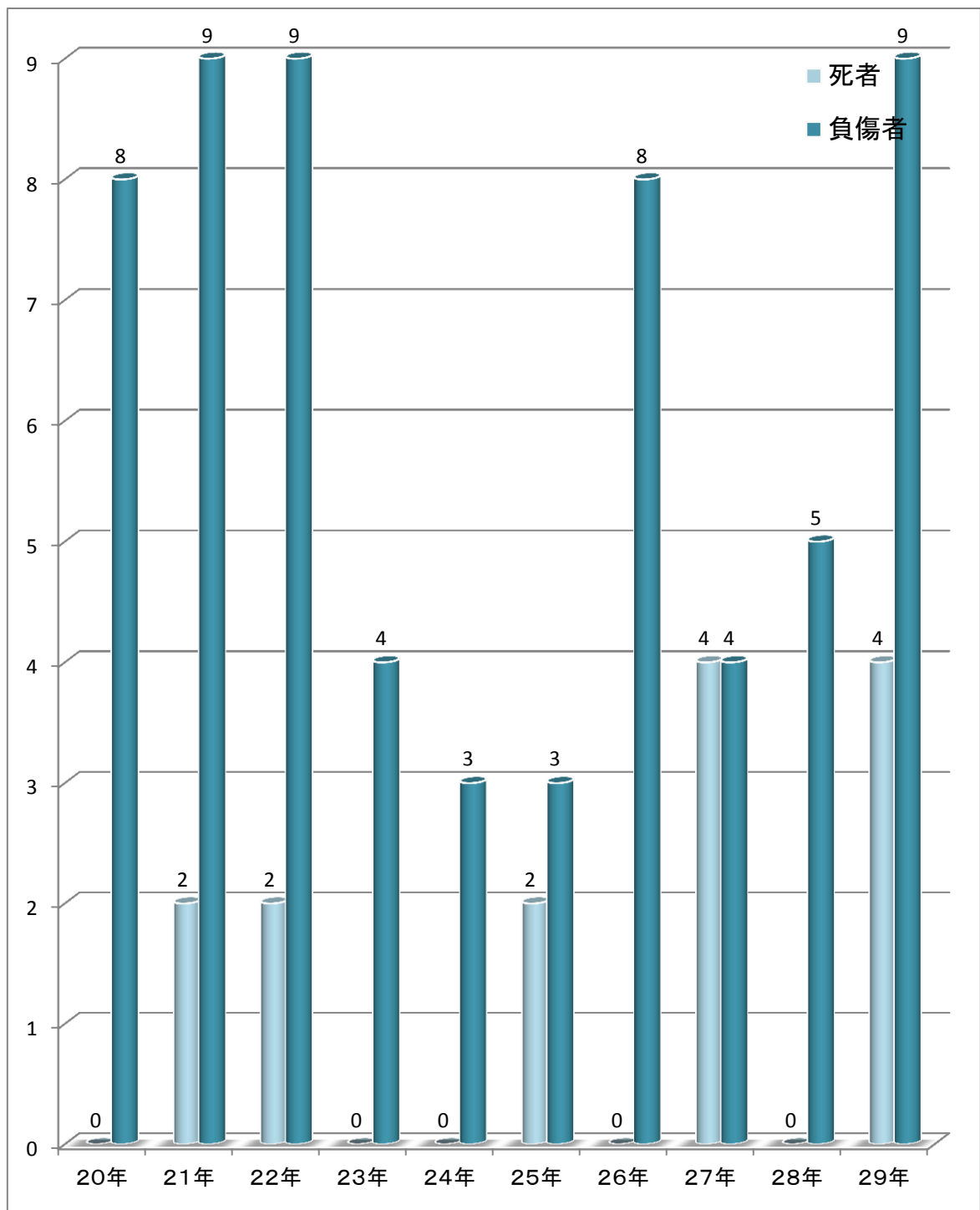
火災による死傷者数

平成29年の火災による死傷者発生状況については、死者4人、負傷者9人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は平成27年及び平成29年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は平成21年、平成22年及び平成29年が9人と最も多く、次いで平成20年及び平成26年の8人の順となっている。

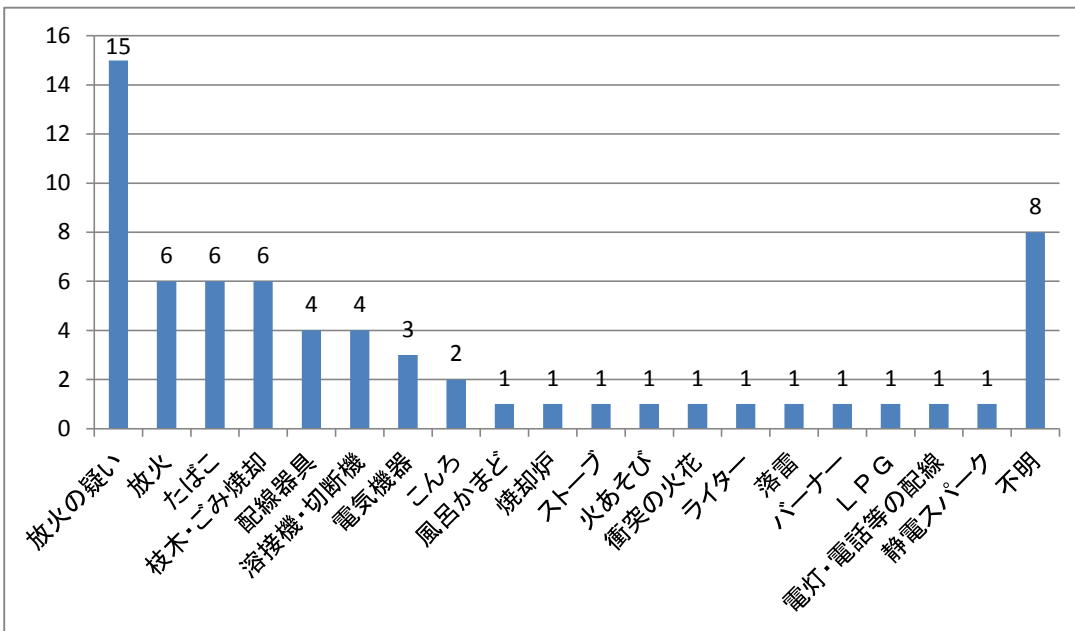
(人) 第6図 年別死傷者数



出火原因別出火件数

出火件数 65 件を出火原因別にみると第 7 図のとおり、放火の疑い及び放火による火災が 21 件と多く発生し、全体の 32.3% を占めている。

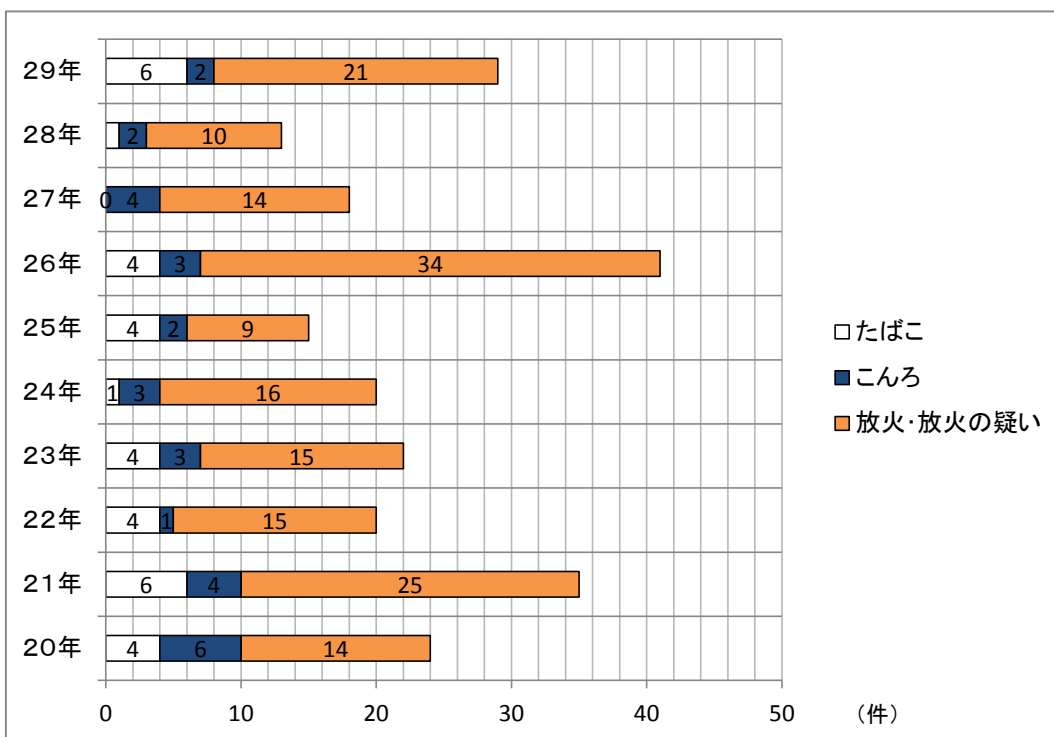
(件) **第 7 図 出火原因別出火件数**



出火原因の推移

過去 10 年間の主な出火原因の推移をみると第 8 図のとおり、平成 20 年以降放火・放火の疑いによるものが毎年上位を占め、平成 26 年の 34 件が最も多く、次いで平成 21 年の 25 件となっている。

第 8 図 出火原因の推移



救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は5,923件で前年と比較して39件増加している。1日当りの平均出場件数は、16.2件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は5,704人で前年と比較して45人増加している。

なお、当消防本部管内の住民24人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

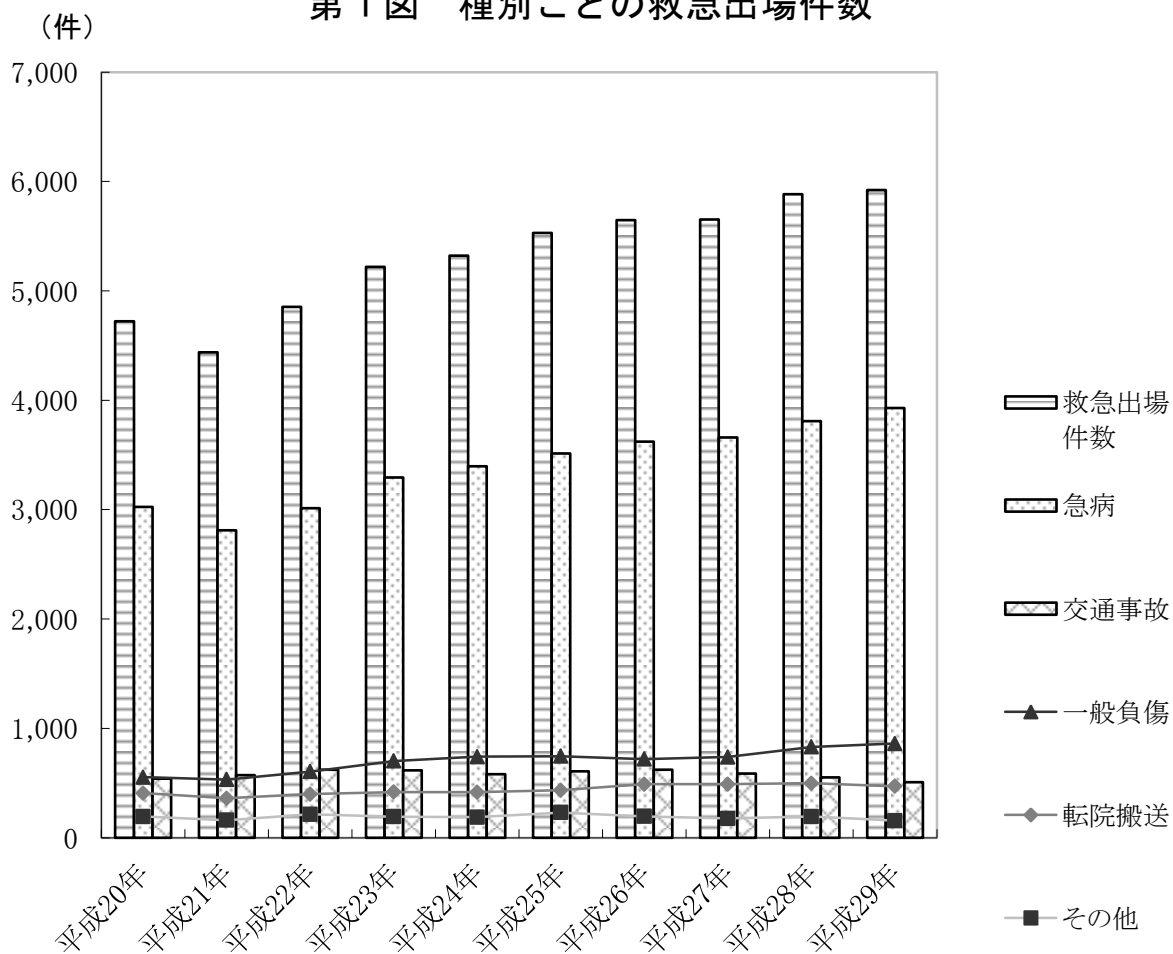
第1表 救急業務実施状況

事故種別 署別		火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	その	合	
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	計	
本署	平成28年	件数	15			162	17	8	248	5	14	1,036	71	1,576
		人員	3			168	17	8	242	5	9	995	70	1,517
	平成29年	件数	15			163	17	8	223	3	6	1,110	86	1,631
		人員	8			161	17	8	215	3	5	1,058	86	1,561
稲沢東分署	平成28年	件数	6			241	16	18	350	8	18	1,646	251	2,554
		人員	2			249	16	19	338	9	11	1,562	250	2,456
	平成29年	件数	11	1		197	20	9	388	4	12	1,687	249	2,578
		人員	2	1		206	19	9	376	4	5	1,609	250	2,481
祖父江分署	平成28年	件数				69	12	4	118	3	11	563	129	909
		人員				67	12	4	113	4	6	527	129	862
	平成29年	件数	2		2	73	5	9	112	1	7	539	91	841
		人員	1			74	4	9	111	1	4	511	91	806
平和分署	平成28年	件数				79	16	4	114		11	565	56	845
		人員				82	16	4	112		8	548	54	824
	平成29年	件数	2			74	14	2	139	2	2	592	46	873
		人員	1			83	14	2	136	1	1	572	46	856
合計	平成28年	件数	21	0	0	551	61	34	830	16	54	3,810	507	5,884
		人員	5	0	0	566	61	35	805	18	34	3,632	503	5,659
	平成29年	件数	30	1	2	507	56	28	862	10	27	3,928	472	5,923
		人員	12	1	0	524	54	28	838	9	15	3,750	473	5,704

種別ごとの救急出場件数

過去10年間の救急出場件数を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおり救急出場件数は増加傾向にあり、特に急病と一般負傷の出場件数が増加している。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

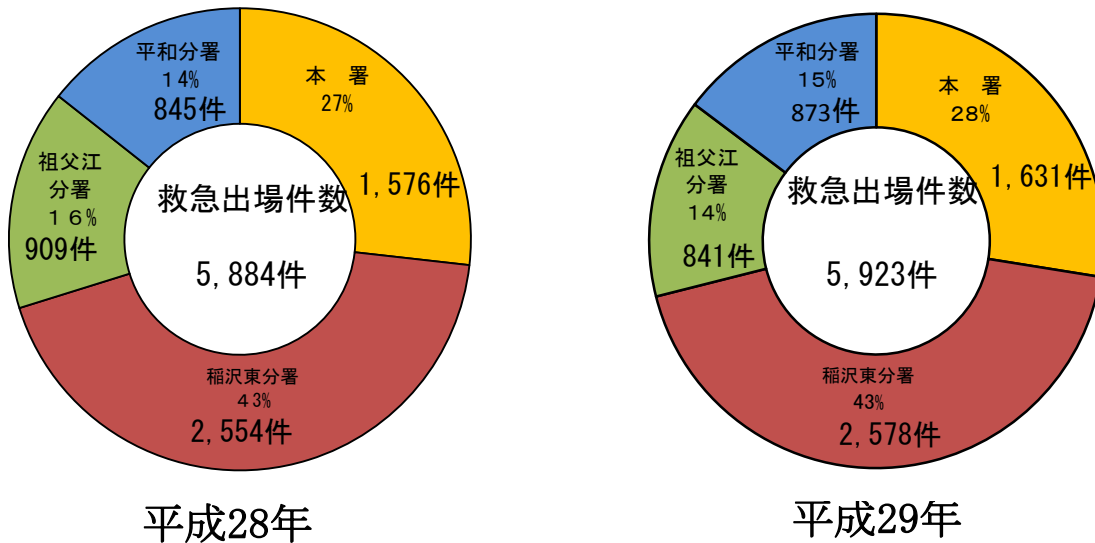
種別 \ 年別	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
救急出場件数	4,722	4,437	4,855	5,221	5,323	5,531	5,647	5,653	5,884	5,923
急病	3,025	2,812	3,014	3,294	3,396	3,514	3,621	3,661	3,810	3,928
交通事故	541	572	623	615	581	608	622	587	551	507
一般負傷	554	532	605	702	742	745	719	739	830	862
転院搬送	408	361	399	418	416	434	490	490	499	470
その他	194	160	214	192	188	230	195	176	194	156

署別救急出場件数

救急出場件数5,923件を署別に見ると第2図のとおり稲沢東分署が2,578件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

前年と比較すると、祖父江分署は68件減少、本署は55件、稲沢東分署は24件、平和分署は28件増加し、合計39件の増加となった。

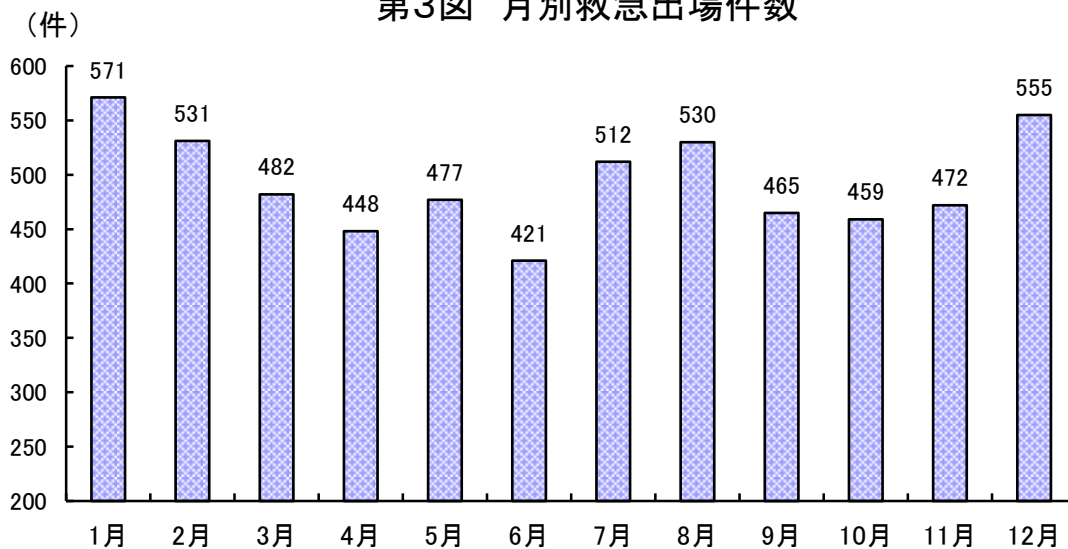
第2図 署別救急出場件数



月別救急出場件数

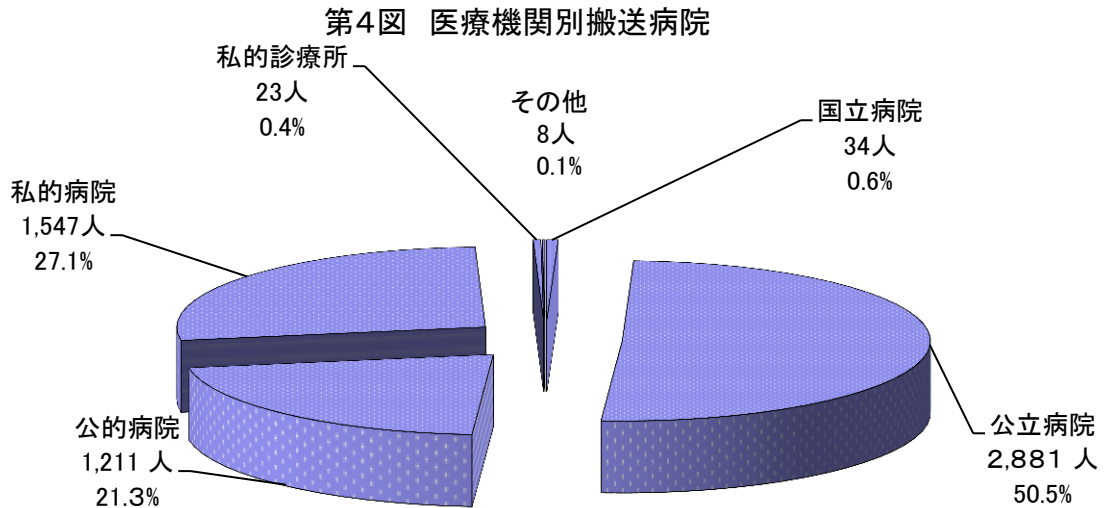
救急出場件数5,923件を月別に見ると、第3図のとおり、1月が571件と最も多く、次いで12月、2月の順となっている。最も少なかったのが6月の421件で、月平均にすると494件となる。

第3図 月別救急出場件数



医療機関別搬送人員

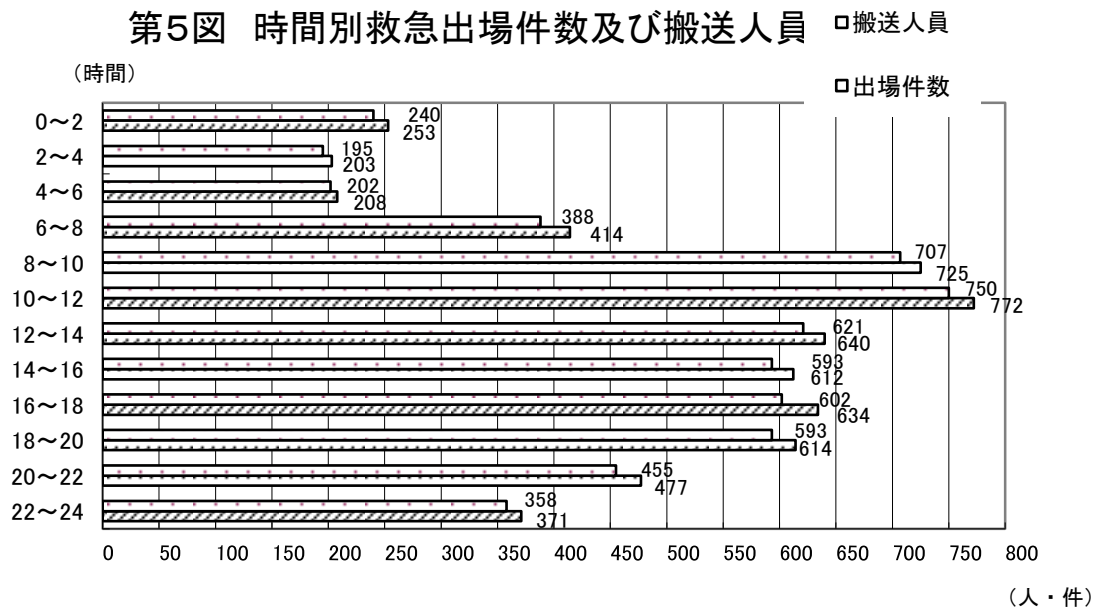
搬送された5,704人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が2,881人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。



時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,923件及び搬送人員5,704人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が772件と最も多く、次いで8時から10時と12時から14時になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の203件となっている。

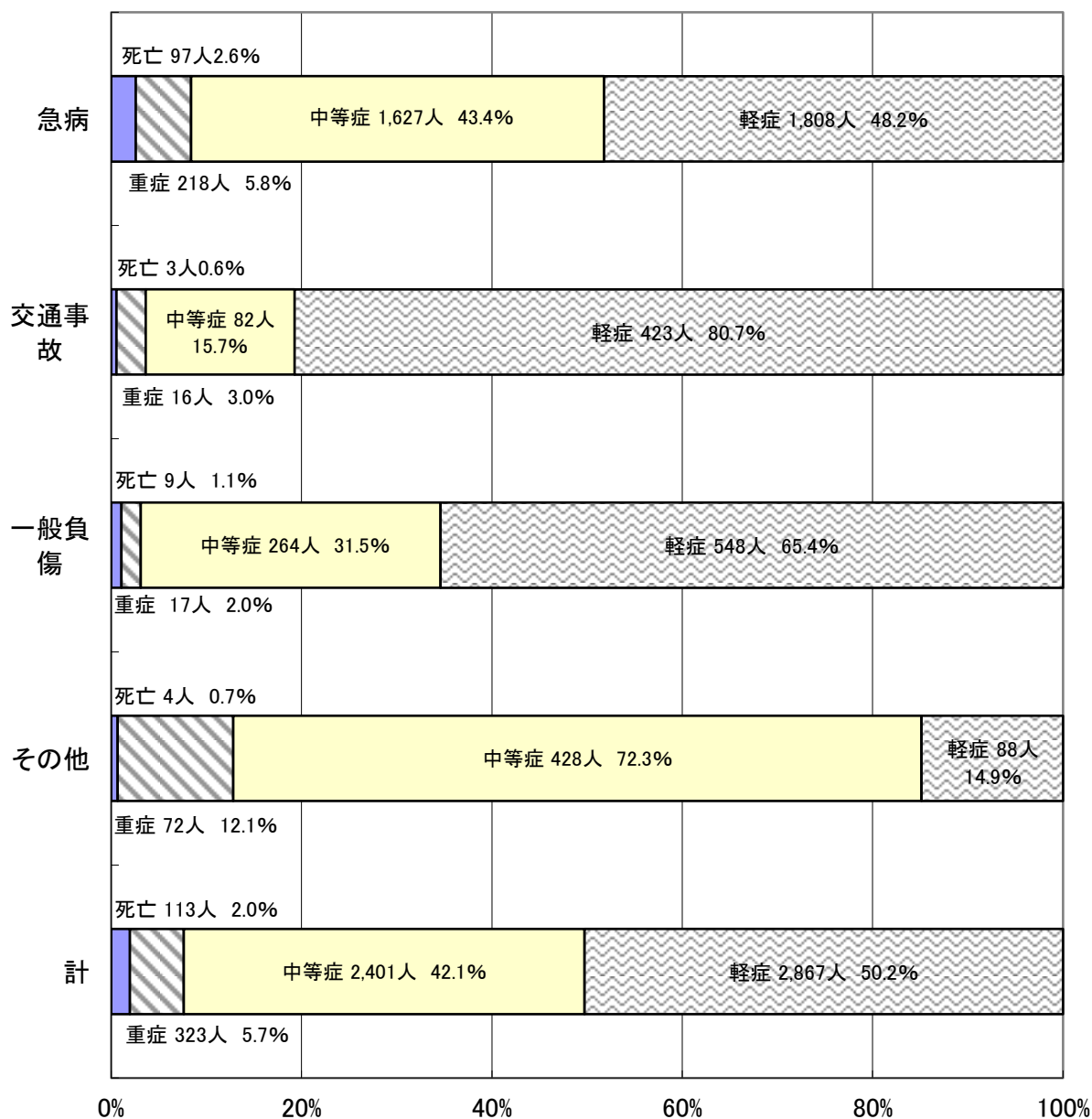


傷病程度別搬送人員

搬送人員 5,704 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、軽症が 2,867 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

傷病程度の軽症割合は、交通事故が 524 人のうち 423 人（80.7%）が軽症で最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

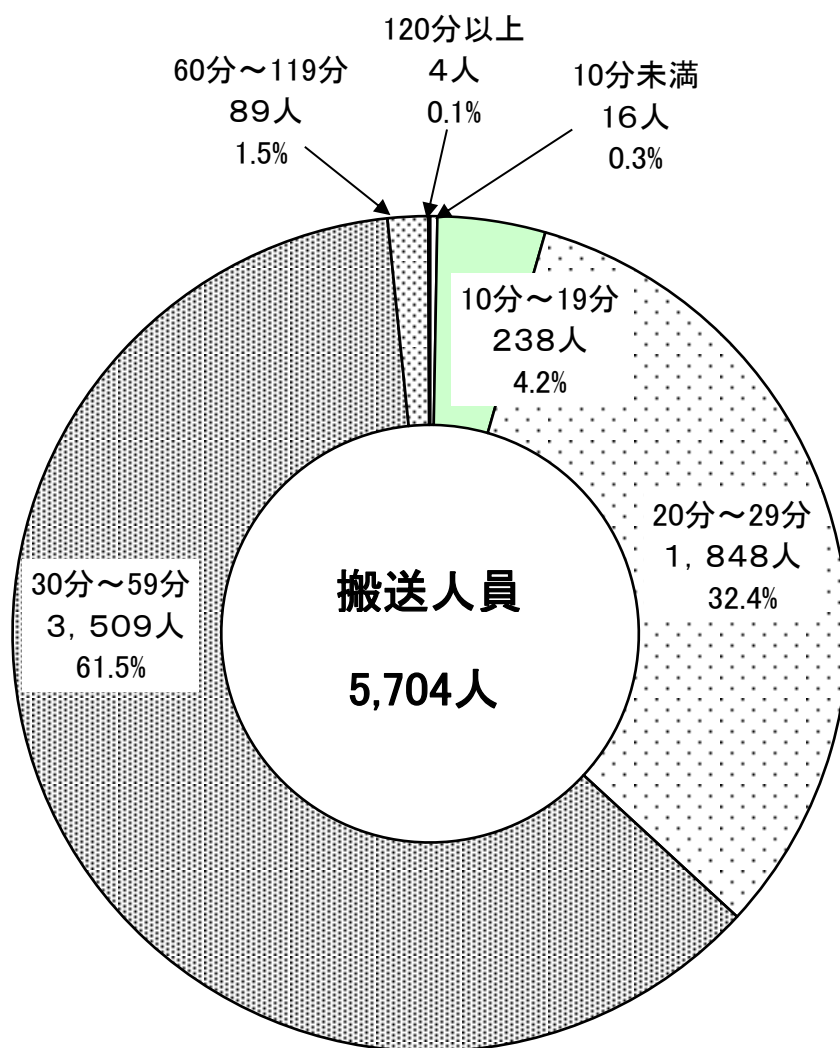


収容所要時間別搬送人員

搬送人員 5,704 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の 4.5% が 20 分未満で病院に収容され、30 分未満になると 36.9% が収容されている。しかし、30 分以上は 63.1% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 収容所要時間別搬送人員の状況

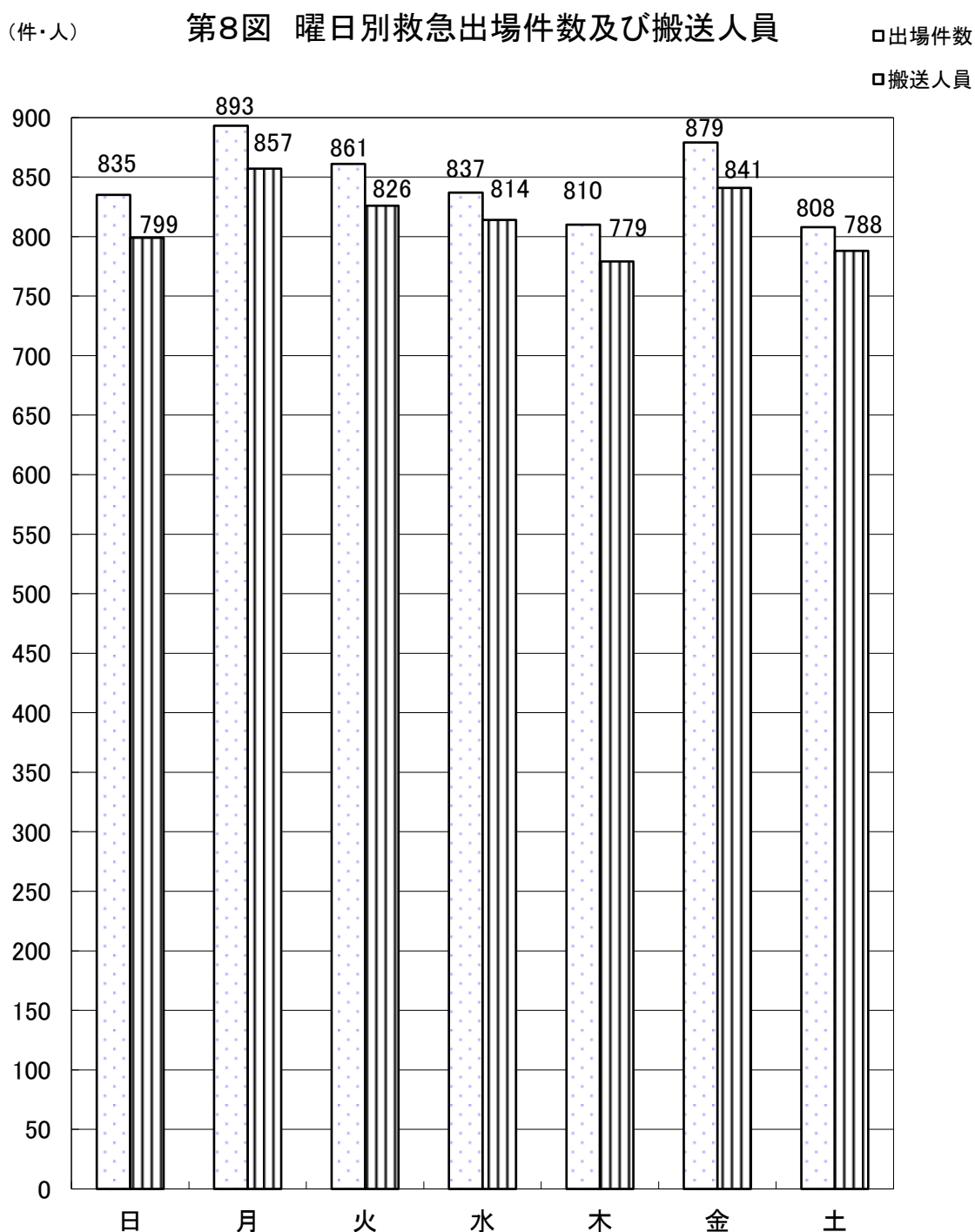


曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数 5,923 件及び搬送人員 5,704 人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、月曜日が 893 件と最も多く、次いで金曜日、火曜日の順となっており、最も少ないのは土曜日の 808 件となっている。

搬送人員は、月曜日が 857 人と最も多く、次いで金曜日、火曜日の順となっており、最も少ないのは木曜日の 779 人となっている。



救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、表のとおりである。

救助出動件数は69件で、前年の58件と比較すると11件増加している。

出動件数を事故種別で見ると、その他の事故が32件（46.4％）で最も多く、次いで交通事故が21件（30.4％）となっている。

救助活動件数は34件であり、この活動により35人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、その他の事故が11人で全体の31.4％を占めている。

表 救助出動及び活動状況

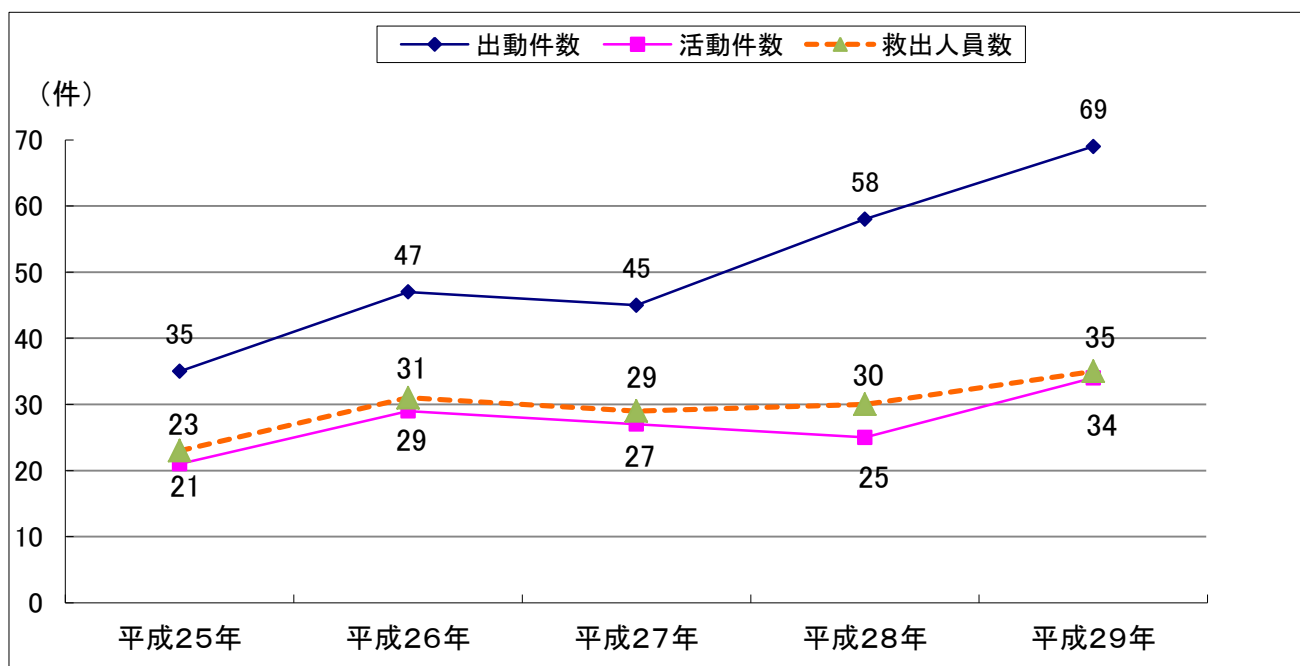
所轄別		事故種別	事故種別								合計
			火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害	その他の事故	
本署	出動件数	平成28年	1	9	0	1	2	1	0	3	17
		平成29年	2	10	0	1	5	0	0	13	31
	活動件数	平成28年	1	4	0	1	1	1	0	2	10
		平成29年	2	5	0	1	5	0	0	3	16
	救出人員	平成28年	1	3	0	1	1	4	0	1	11
		平成29年	1	5	0	1	5	0	0	3	15
稲沢東分署	出動件数	平成28年	0	10	1	0	4	0	0	10	25
		平成29年	3	3	0	1	3	0	0	10	20
	活動件数	平成28年	0	3	1	0	4	0	0	3	11
		平成29年	3	2	0	0	3	0	0	4	12
	救出人員	平成28年	0	5	1	0	6	0	0	3	15
		平成29年	3	3	0	0	4	0	0	4	14
祖父江分署	出動件数	平成28年	0	3	0	0	0	0	0	3	6
		平成29年	0	6	1	0	0	0	0	6	13
	活動件数	平成28年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		平成29年	0	1	1	0	0	0	0	2	4
	救出人員	平成28年	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		平成29年	0	1	1	0	0	0	0	2	4
平和分署	出動件数	平成28年	0	7	0	1	1	0	0	1	10
		平成29年	0	2	0	0	0	0	0	3	5
	活動件数	平成28年	0	3	0	0	0	0	0	0	3
		平成29年	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	救出人員	平成28年	0	3	0	0	0	0	0	0	3
		平成29年	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	出動件数	平成28年	1	29	1	2	7	1	0	17	58
		比率	1.7%	50.0%	1.7%	3.5%	12.1%	1.7%	0.0%	29.3%	100%
		平成29年	5	21	1	2	8	0	0	32	69
		比率	7.2%	30.4%	1.5%	2.9%	11.6%	0.0%	0.0%	46.4%	100%
	活動件数	平成28年	1	11	1	1	5	1	0	5	25
		平成29年	5	8	1	1	8	0	0	11	34
	救出人員	平成28年	1	12	1	1	7	4	0	4	30
		平成29年	4	9	1	1	9	0	0	11	35

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり平成29年の69件が最も多く、次いで平成28年の58件となっている。

救助活動件数を見ると、平成29年の34件が最も多く、次いで平成26年の29件となっている。

救出人員数を見ると、平成29年の35人が最も多く、次いで平成26年の31人となっている。

第1図 過去5年間の救助出動等の推移



救助出動した69件を所轄別で見ると、第2図のとおり本署が31件（44.9%）と最も多く、次いで稲沢東分署が20件（29.0%）となっている。

第2図 所轄別出動状況

